



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト

平成19年度

佐賀大学有明海総合研究プロジェクト 成果公開シンポジウム

2008年5月24日(土)

■ 会場/佐賀大学理工学部6号館(本庄キャンパス)
都市工学科大講義室(1F)・多目的セミナー室(2F)

■ 開催時間/9:30~16:30

■ 主催/佐賀大学有明海総合研究プロジェクト

■ お問い合わせ/

佐賀大学有明海総合研究プロジェクト事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

電話・FAX: 0952-28-8846

<http://www.ariake.civil.saga-u.ac.jp/index.html>



ACCESS

- 佐賀駅バスセンターからバスで約20分
[4番のりば]から市営バス11番相応行又は、12番東与賀行で「佐大前」下車。
[4番のりば]から市営バス63番佐大前行で「佐大前」下車。
- 佐賀駅からタクシーで約15分
- ◆ 駐車場は余裕がありますので、マイカーでご来場いただいても結構です。

平成19年度
佐賀大学有明海総合研究プロジェクト
成果公開シンポジウム プログラム



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト

会場：1階都市工学科大講義室

9:00～

受付

9:30

主催者挨拶

9:40～12:30

コア研究1 成果発表

◎環境物質動態研究部門

- ・部門全体の成果概要説明／山本浩一
- ・有明海湾奥部の底質に関する研究－細粒化の解明とモデル化にむけて－／山本浩一
- ・有明海底質からの細胞外ポリマーの抽出とその特性／原田浩幸

◎干潟底質環境研究部門

- ・部門全体の成果概要説明／田端正明
- ・有明海沿岸の海水中の鉄濃度分布と海域環境変化／田端正明
- ・2層ボックスモデルによる有明海奥部西岸域の貧酸素水塊発生機構の解析／瀬口昌洋

◎環境モデル研究部門

- ・部門全体の成果概要説明／速水祐一
- ・有明海奥部における物質輸送と低次生態系の動態について
－プロジェクト5年間の中間報告－／速水祐一
- ・数値シミュレーションによる有明海異変の原因解明に向けて／濱田孝治
- ・GISを用いた筑後川・菊池川・白川・緑川における流出・負荷モデルの構築と
佐賀東部クリーク地帯における流出負荷量の算定／大串浩一郎

－昼食－

13:30～14:20

ポスターセッション（2階多目的セミナー室）

14:30～15:50

コア研究2 成果発表

◎微生物相研究部門

- ・部門全体の成果概要説明／神田康三
- ・海苔スミノリ症病原細菌に感染するバクテリオファージ／神田康三
- ・有明海に生息する乳酸菌の生産するII型制限酵素／加藤富民雄
- ・有明海における微生物相解析／小林元太

◎食水系感染症研究部門

- ・部門全体の成果概要説明／中島幹夫
- ・ビブリオ・バルニフィカス感染症対策－臨床医学的アプローチ 第三報－／中島幹夫
- ・ビブリオ・バルニフィカス感染症対策－基礎医学的アプローチ 第三報－／大石浩隆

15:50～16:30

コア研究3 成果発表

◎地域文化・経済研究部門

- ・部門全体の成果概要説明／山下宗利
- ・諫早湾干拓事業の決定過程
－アジェンダ・セッティングのズレをめぐる－／樫澤秀木
- ・干潟地域における食と健康にまつわる伝承
－伊勢湾および三河湾沿岸における予備調査の報告－／藤永豪

16:30

閉会の辞

開催日：2008年5月24日(土)

会場：佐賀大学本庄キャンパス理工学部6号館(右図)

